



社会福祉法人 恩賜財団 済生会  
済生会熊本福祉センター

- 障害者多機能型事業所 就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき
- 障害者多機能型事業所 就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ
- 障害者多機能型事業所 就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ
- 済生会しらふじ保育園
- 児童発達支援センター 済生会なでしこ園
- 済生会グループホーム事業所
- 済生会熊本福祉相談支援センター
- 済生会なでしこ園相談支援事業所
- 熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!! 済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、保育園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約470名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

- 基本方針
- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
  - ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
  - ・利用者主体の福祉を実践します。

福祉センター 2017年度事業計画

1. 2017年度事業計画

2017年度は「改正社会福祉法」により社会福祉法人に〔・事業運営の透明性の向上・財務規律強化・地域における公益的な取り組みの実施〕が求められている。また、「障害者総合支援法施行3年後の見直し」においては、障害者のニーズに対応してよりきめ細やかな対応や質の高いサービスを持続的に利用できる環境整備が求められている。翌2018年度は報酬改定の年であるが、新たに「自立生活援助」や「就労定着支援」等の事業の創設も予定されている。

このような環境の中、福祉センターでは「意識変革から行動へ」をキーワードに、中期事業計画の最終年度としての総仕上げを行うとともに、プロジェクトチームを中心として新たな中期事業計画の策定を行い、新規事業への取り組みや報酬改定への対応に注力する。

2. 各施設の重点推進項目

- ほほえみ 利用者確保と重度者支援の充実、リスク管理の強化
- かがやき 社会適応訓練の強化、病院内授産事業の運営検討
- ウイズ エンパワーメントの推進、食事提供加算廃止後の給食事業検討
- グループホーム ホーム新設計画推進、夜間支援体制加算（I）取得
- なでしこ園 福祉サービス第三者評価受審、保育所等訪問支援事業の対象先拡大
- しらふじ保育園 認定子ども園への移行検討、ICTシステムの活用
- 相談支援センター 熊本市の委託事業や福祉センター相談支援事業の一体化検討
- 定着支援センター 九州ブロック情報連絡会開催、市民公開講座開催検討

3. 2017年度の主な行事計画

月	行事・事業名	外部会議等
4月	・新入職員新入式 ・しらふじ保育園入園式 ・「すまいるん」発行 ・利用者健康診断 ・防災訓練	県施設協会連絡会
5月	・熊本県障害者スポーツ大会	ひまわり家族会総会 市施設連合会総会・きずなの会
6月	・しらふじ保育園・なでしこ園花の日訪問	全国定着支援センター協議会
7月	・「すまいるん」発行	全国就労センター研究会
8月	・内田夏祭り	天明市民の集い
9月	・しらふじ保育園運動会 ・パートステップアップ職員研修会	熊本市知的障害者施設協会
10月	・熊本県施設親善スポーツ大会 ・なでしこ園カミングデー ・幹部研修会	全国知的障害者関係研究大会 熊本県知的障害者施設協会 九州知的障害者関係施設長研究大会
11月	・防災訓練 ・自己評価実施 ・GH新築工事着工	九州就労センター研究大会
12月	・各施設事業計画策定 ・新年式	知的障害者施設協会福祉大会 熊本市ブロック施設長会議
1月	・「すまいるん」発行 ・福祉センター事業計画提出	県知的障害者施設協会連絡会
2月	・ひまわり家族会新年親睦会 ・なでしこ園福祉サービス第三者評価受審 ・第三者委員事業報告会 ・職員互助会懇親会	全国社会就労センター長研修会 苦情解決研修会 済生会学会
3月	・卒園式（しらふじ保育園・なでしこ園） ・GH並建完成	県知的障害者施設協会評議員会 県就労センター施設長会

済生会熊本福祉センター 2017年度運営基本方針

キーワード 「意識変革」から「行動」へ

- 質の高い福祉サービスの提供**
  - ・利用者（児）を主体としたストレングス視点による支援の充実
  - ・各事業所における自己評価の着実な実施と福祉サービス第三者評価受審への対応
  - ・就労系事業所における一般就労促進と工賃向上推進
  - ・OJT や人事交流、階層別研修の活性化による人材育成
  - ・熊本県地域生活定着支援センターの関係機関との連携強化による機能促進
- 地域社会・家族との連携**
  - ・医療に関する講演会開催など、グループ機能を活かした地域貢献活動の促進
  - ・「夏祭り」や地域の行事、イベント参加による地域社会との交流促進
  - ・ホームページや広報誌の活用による積極的な情報発信
  - ・見学会や情報交換会、体験会開催等による家族や地域社会との連携強化
- 経営基盤の安定**
  - ・プロジェクトチーム「アクションプラン'22」による新たな中期事業計画の策定
  - ・2018年度の報酬改定への対応検討
  - ・関係機関への積極的アプローチによる利用者（児）の確保
  - ・「自立生活援助事業」「就労定着支援事業」等、新規事業への参入準備
  - ・建物改修やシステム更新、LED化推進等の計画的な設備投資
  - ・新規グループホームの建設と運営の見直し

済生会ウイズ食堂 紹介

『レストランウイズ』は2016年4月より、就労継続A型事業として給食事業を開始しました。

調理師2名・支援員1名・A型従業員2名で、福祉センターの利用者、職員の昼食を提供しています。

毎日バタバタしながら力を合わせて、皆さんに喜んでもらえる食事を140食ほど作っています。

従業員は最初は初めての作業に悪戦苦闘でしたが、今では自分の作業に責任を持ち、笑顔で取り組んでいます。



5・6・7・8月くらいの出来事 お知らせ

- ★ 済生会なでしこ園
  - 6月10日 土 なでしこ園勉強会「就学について①（仮）」
  - 7月8日 土 なでしこ園勉強会「感覚統合について（仮）」
  - 6月30日 金 なでしこ園勉強会「就学について②（仮）」
  - 6月10日 土 ぴーすクラブ（きょうだい児活動）①
  - 8月19日 土 なでしこ園勉強会「障害当事者からのお話（仮）」
- ★ 済生会しらふじ保育園
  - 6月25日・9日 木・金 花の日訪問
  - 8月8日・26日 金・土 卒園児10周年キャンプ
- ★ 済生会かがやき・済生会ほほえみ・済生会ウイズ・済生会グループホーム・地域生活定着支援センター
  - 8月5日 土 第14回内田夏祭り

忘災月間の取り組み

熊本福祉センターでは4月を「忘災月間」と名付けて様々な取り組みを行いました。職員間の情報伝達訓練、避難訓練、防災に関する講話と救急法レクチャー、皆で非常食。そしてDCATの方々をはじめ、お世話になった皆様に御礼の言葉を利用者皆で書き綴りました。1年前を思い出すのは辛いことではありませんが、災害に対して前向きに備えていくことが大切だと感じています。



ポスター掲示



2017 がんばろう熊本!



非常食を食べました

### << 2016年度 苦情・要望

#### 済生会ウイズ苦情・要望件数 「8件」

##### <<苦情・要望内容>>

施設の忘年会で渡すプレゼントは事前に家族に確認してほしいとお願いしていたが出来ていなかった。引き継ぎはどうなっているのか、という家族からの苦情。

##### <<対応>>

担当支援員がかわったことで引き継ぎがきちんとできていなかったことが原因。引き継ぎ書の確認を徹底する。

#### なでしこ園苦情・要望件数 「17件」

##### <<要望>>

園庭で遊ぶ際は「すべり台」よりも「ブランコ」に誘導してほしい。「こぐ力」を身につけて欲しいため。

##### <<対応>>

母の要望に沿って、お子さんの様子に合わせて「ブランコ」に誘導することを伝えた。園庭でのブランコでの様子についてもおたよりに積極的に記載することとした。

#### 済生会ほほえみ苦情・要望件数 「18件」

##### <<苦情・要望内容>>

送迎車内でエアコンの風が強い状態で直接本人に当たっていたため、送迎職員に配慮を依頼したが、対応してもらえなかった。【ご家族より】

##### <<対応>>

対応した職員に確認を行うと、配慮ができていなかったことが判明（暑い時期であり、帰宅送迎前に車内を冷やすためにエアコンを強くしており、その後もそのままの状態を送迎を行っていた）。ご家族にお詫びし、送迎に携わる全職員で、エアコンの設定温度や風量、利用者それぞれの特性について再度確認を行っている。

#### 済生会グループホーム事業所苦情・要望件数 「18件」

##### <<内容>>

ご家族より、夜間のエアコンの使用について時間が決められているようだが、暑くて眠れない日もあるので、自由に使えるようにしてもらえないかと要望がある。

##### <<対策>>

利用者会議を実施し、皆さんの意見を聞いたところ、自由に使用したいとの希望が多く聞かれた

ため、管理が難しい方に関しては支援を行うようにした。

#### 済生会かがやき苦情・要望件数 「11件」

##### <<苦情・要望内容>>

休みなどの連絡を担当職員でなく、他の職員にも伝えて良いようにしてほしい。

##### <<対応>>

BOX投函での要望だったので、各部署で誰にでも伝えて良い事を全体の利用者へ伝えてもらう。

#### しらふじ保育園苦情・要望件数 「9件」

##### <<内容>>

保護者が土曜日に布団入れを忘れた事に対しての職員の対応が良くなかった。

##### <<対策>>

伝える言葉が不足し保護者に対して悪く伝わった事に対して謝り、今後言葉使いに十分に注意する事を伝えた。

### 冬のあそび

#### 済生会なでしこ園



なでしこ園では、冬の季節に合わせてさまざまな活動を行いました。毛布あそびをしたり、かわいい鳥の形の凧を作って飛ばしたり、福笑いをしたりして、季節を感じています。

とある冷え込んだ日、園庭に出ると霜柱が……！

目をキラキラ輝かせて踏んでみたり、冷たい氷に触ってみたり、いつもは砂を集めているバケツに氷をたくさん集めてみたり、おともだちに“はい、どうぞ”と渡してみたりして楽しんでいます。寒い冬の日でも、子どもたちの楽しげな声が、元気いっぱいです！なでしこ園には子どもたちの楽しげな声が響いていますよ！



### 楽しかったお別れ遠足★

#### 済生会しらふじ保育園



済生会しらふじ保育園では、3月7日(火)に5歳児らいおん組さんにとっては、最後となる“お別れ遠足”がありました。1・2歳児す・うさぎ組は苜蓿公園に行き、珍しい大きな遊具があり、思いっきり体を動かして遊びました。

3・4・5歳児は運動公園お楽しみ広場に行きました。

お楽しみ広場には、草スキーができる広場もあり、用意していた草スキーボードに乗って何度も滑っては、また登ってを繰り返して「キャー!!!」「うわあ〜!!!」など、楽しむ声が響き渡っていました。

らいおん組さんは、遊んでいるときやお弁当を食べるときなど、小さいお友だちの面倒を見てくれましたよ。らいおん組さん、今までたくさん遊んでくれてありがとう！また、いつでも遊びに来てくださいね。



### 春のレクレーション コカコーラ工場見学

#### 済生会かがやき



平成29年3月25日(土) 済生会かがやき平成28年度最後の行事「春のレクレーション」で宮崎県えびの市にある「コカ・コーラえびの工場」と「足湯の駅えびの高原」に総勢48名でお出掛けをしました。大好きなコカ・コーラ製品の1本プレゼントや新商品の試飲を楽しみ、雪景色のえびの高原の絶景を眺めながら美味しい食事とショッピングを楽しんだ素敵な一日となりました。



### 春のレクレーション いちご狩り

#### 済生会ほほえみ

3月25日、ほほえみ土曜活動で、かねてからの皆の要望でいちご狩りに出かけました。

あいにくの小雨の降る中でしたが、いちご農園の方は笑顔で迎えてくださいました(^^)

ハウスの中は甘い香りいっぱい！腰ほどの高さにあるいちごの畝に、真っ赤ないちごが沢山あり、皆のテンションはMAX!!

中には、青いいちごを取りそうになる方もいらっしゃいましたが(笑)、皆で採りたての甘いいちごをほおばりました。

帰りの車内では、「また来たいね」とみんな満足そうな表情でした。



### 駅伝応援&植木市散策

#### 済生会ウイズ

2月18日(土)のウイズB型日中活動は、熊本県民総合運動公園えがお健康スタジアムで行われたライオンズ駅伝大会の応援に行きました。冷たい風が吹き抜ける中、日頃一緒に作業を行っている仲間と頑張っている姿に、みんなで熱く声援を送りました。その後、熊本市西区域山公園で行われた春の植木市に行ってきました。四百数十年の歴史があるこの植木市は、出店数もとても多く、いろんな種類の花木に、利用者の方も楽しく鑑賞しながら、それでも花より団子ではないですが、露店のたい焼き、御餅やフライドポテト等を美味しく召し上がられていました。季節を感じながら過ごした活動でした。



発行所  
済生会熊本福祉センター  
発行責任者 道端 由美子  
編集 広報委員会  
熊本市区内田町3560-1  
TEL 096-223-3330  
FAX 096-223-3429  
http://www.sk-fukushi.jp/